

林賞 農産 愛媛 優秀賞 1 団体選出 愛水 奨励賞 1 団体 技術開発賞 1 個人

県内農林水産業の振興に貢献した団体や個人を顕彰する「第25回愛媛農林水産賞」の選考委員会(委員長・土居英雄愛媛新聞社社長)は26日、優秀賞、奨励賞の各1団体と技術開発賞1個人を選んだ。表彰式は11月1日、松山市大手町1丁目年農業者連絡協議会(松山市、坂本和久会長)。技術

開発賞は愛媛大農学部教授の菅原卓也氏(50)＝松山市桑原2丁目。特別賞は該当がなかった。

(渡部竜太郎)

受賞団体・個人の主な業績は次の通り。

【JA周桑玉ねぎ部会】

1973年の発足以降、愛媛のタマネギ生産をけん引してきただけでなく、担い手の高齢化が進む中、省力化や低コスト生産で栽培面積を回復させ、産地維持に貢献している。減農薬などの「エコ栽培」で安全・安心なタマネギ生産と環境負荷の軽減を実現し、農家所得の向上も図っている。

【松山市青年農業者連絡協議会】

会員38人がかんきつ栽培などに取り組む。ひ

び割れといった果皮障害を低減するため、原因の一つであるビニールハウスなどの雨よけ施設からの落水を防止する技術を研究。安価な資材を使って果皮障害を減少させる方法を開発し、技術の普及を図っている。

【菅原卓也愛媛大教授】

かんきつの果皮と牛乳のタンパク質に含まれる成分を同時摂取すると、花粉症などのアレルギー抑制に効果があることを証明した。企業との共同研究で、アレルギー症状の緩和が期待されるヨーグルト飲料を開発し、愛媛の酪農やかんきつ農業の振興に貢献した。(11月1日付で詳しい業績を紹介します)

【紙面編集】越智孝至